

「世界一危険な基地」

Return Futenma unconditionally



普天間基地は無条件撤去を

普天間基地撤去、県内移設反対 ——それは「オール沖縄」の声

沖縄県宜野湾市のだ真ん中に居座る米軍普天間基地。9万人の市民の上空を低空で軍用ヘリや軍用機が飛び交う「世界一危険な基地」です。その撤去は市民と県民の切実な願いです。

ところが日米政府は、その条件に、沖縄県北部・名護市辺野古の美しい海を埋め立て新しい基地をつくることを求めてきました。

しかし、今や「普天間基地撤去、県内移設反対」は、県議会が全会一致で決議するなど、立場の違いを超えた「オール沖縄」の要求です。

新基地建設は「環境保全不可能」

その声を無視して、アメリカ政府のいいなりに、辺野古への新基地建設をすすめようとしているのが野田政権です。年末には県民の反対を押し切って、こっそり基地建設のための環境影響評価書を県に「提出」しました。

この「評価書」に対し、2月8日、県の環境影響評価審査会が答申を発表。「(この事業は)生活環境及び自然環境の保全を図ることは不可能」と明言したのです。

住民生活も自然も破壊し、県民ぐるみで反対している新基地計画——それは完全にゆきづまっています。

普天間固定化なんて許せません!

そこで日米政府がすすめようとしているのが普天間基地の固定化です。

しかもそこに今夏から、墜落をくりかえす欠陥機オスプレイを24機も配備しようとしているのです。これにも、市議会・県議会が全会一致反対しているというのに!!

アメリカでは、コウモリなど野生生物に悪影響があるだけで、軍用機の飛行や基地の建設が中止されます。住民に深刻な被害と墜落の危険を生んでいる普天間基地を無条件撤去することは、アメリカのルールなら当然のことなのです!

沖縄県民とともに普天間基地の無条件撤去の声をあげましょう!

日本平和委員会 <http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277